



【内部資料】発行責任者
佐藤せい子を育てる会
会長 坪井英明

せい子通信



あなたの声を届けます！市議会議員は地域づくりのレポーター

2023年 夏号 vol.83

何という暑さ!!!連日の酷暑。今年の7月は、日本の観測史上、最も気温が高くなりました。この暑さに身体がついていくのが大変です。長く生きてきましたがこんな暑さは初めてです。いくらエアコンの中にも、移動の温度差に辟易しています。しかしこれは、人間の生活の仕方の変化によってもたらされている、人間の活動が地球全体の気候変動に繋がっているとの事。日常生活の中で、一人一人が出来ることを考えていかなければならない時が来ています。

SDGsは、2030年までに世界中で解決、実現していかなければならない17の大きな課題です。自然環境の変化だけではなく、生活様式そのものを変えていかなければなりません。すさまじいスピードで世の中が変化しています。AIが様々なことをやってのける現実に、私は、あんぐり口を開いてみている状態です。人間に代わって、文章を書くなど、まさに驚くしかありません。宇宙旅行も当たり前になっていく時代、かつて万博で披露された最先端技術が、今や日常生活でフル回転しています。この暑さもどうにかできないものでしょうか。皆様まだこの暑さは続きそうです。どうぞ、ご自愛ください。

さて新市長になって、初の6月定例議会が終了しました。とても簡潔な市長答弁の仕方。現状に対応する仕方など、スピード感が感じられ、今後の市政運営にも影響があるのではないかと大いに期待しているところです。「今、静岡市は、変革が必要だ」と発言され、当選された難波市長。今秋から来春にかけて、どんな変化が起きて来るのか、皆さんも市政に熱いまなざしを向けてください。私も二元代表制の一翼を担う責務をしっかりと遂行していきたいと思っています。



大盛況の清水七夕まつり

総務委員会

静岡市では毎年、東京で「静岡市交流会 in 東京」を開催しています。これは、首都圏に在住している静岡市にゆかりのある方々が集まり交流するイベントです。コロナ禍でしばらく中止されていましたが、今年4年ぶりに開催されることとなりました。



Q 東京交流会の再開について、4年ぶりの開催になるが、どんな人を招待しているのか。交流会のそもそもの目的は何か。

A 交流会は、平成24年から始めている。故郷静岡に対する思いを、しっかりと首都圏で活躍している人たちで共有し、情報発信してほしい。平成27年に発足した「いいネ届け隊」の皆さんの交流の場としてや、静岡の魅力やゆかりのある方々に、一人でも多くの方に知って頂くために地場産でおもてなし理解を深めて頂く。省庁の方々や国会議員、観光大使等にご案内して開催している。静岡のファンを増やしていけたらと思っている。

8月は平和を祈る月です

先日の新聞報道で、広島で被爆して12歳で亡くなり、平和記念公園の「原爆の子の像」のモデルとなった佐々木禎子さんが残した折り鶴の複製が、遺族からキリスト教カトリックの総本山バチカン市国に贈られるとの記事がありました。被爆後、白血病となり、回復を祈り千羽以上の鶴を折り続けた禎子さん。

ウクライナに侵攻するロシアの核の脅威が現実味を増す中、8月は戦争で犠牲になった方へ思いをはせ、平和への思いを新たにしたいものです。



「全国地方議員サミット 2023」参加



ここ数年はコロナ禍のため、ZOOM 参加でしたが、今年はリアル参加できました。マニフェスト大賞の募集が7月1日からスタート。それに合わせて、恒例の全国サミットが開催されました。今年、私は2日目の総合司会を担当しました。

コロナ禍で進んだ生活様式の変容、人口構成の変化による公共サービスの危機、凄まじいスピードで進化

する生成 AI など、デジタル技術の革新。「地方分権」「マニフェスト」20 年を経た新しい民主主義の再定義。私達地方議会は、こうした激変する時代にいかにか立ち向かい、対応するのか。地方議会こそ社会の激変に的確に対応し、地方から国を変えていくという決意の下、今年も早稲田大学大隈講堂で開催。主催者の思いと共に、専門家や当事者の議論に加え、各地の議会から先進事例の紹介をまじえて、各種提起されました。



様々な活動をしています



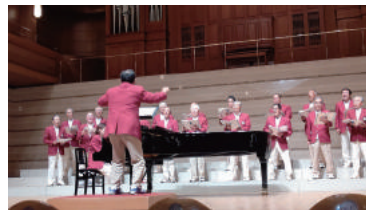
新型コロナが5類相当になり、いよいよイベントや講演会等が対面で開催されるようになりました。



夏休みに向け
交通安全運動



難波市長を迎えての
「巴川総合治水期成同盟会」総会



静岡市合唱のつどい
パパさんコーラス



地元の夏祭り（谷田自治会）



豪華客船清水港寄港
今年は70隻以上が寄港します



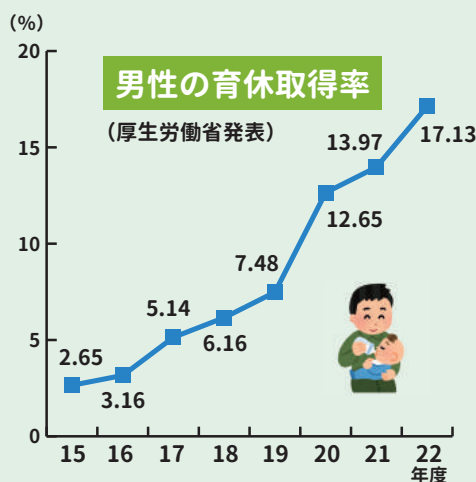
(社) 大学女性協会総会



6年ぶりに通常開催された
安倍川花火大会

男性育児取得率 17.13%

厚生労働省によると、2022年度の男性の育児休業取得率は17.13%でした。10年連続で上昇し、過去最高を更新しましたが、「25年までに50%」の目標とは大きな差があります。取得率は小さい事業所ほど低く、人手や資金に余裕のない中小企業は、育休中の代替要員確保や周囲の業務負担軽減などの課題があります。



9月議会日程

- 9/13 本会議（上程）
- 9/22・25・26 本会議（総括質問）
- 9/28・29・10/2・3 常任委員会
- 10/11 本会議（質疑・表決）

佐藤せい子



〒422-8008 静岡市駿河区国吉田 4-25-19
 TEL : 054-267-2000 FAX : 054-267-2001
 ブログ <http://blogs.yahoo.co.jp/sseiko1022>
 ホームページ satoseiko.com
 メール sseiko@nifty.com